

ごあいさつ

高松市小学校管楽器教育研究グループ『ビバ！プラス』 代表 徳田 仁司



“音楽は心の友”

「ドラえもん」の話ではありませんが、現在、バンド活動に取り組んでいる子はもちろん、バンド活動に参加していないなくても音楽が大好きな子はたくさんいます。そんな子は、「悲しい時」「うれしい時」などに自分の気持ちにあった曲を選び、聴くことで自分の心を癒したり、奮い立たせたりすることができます。音楽って素晴らしい友達だなと思っていることでしょう。

昨年度は、合同練習の前から、ビバ！プラスのホームページで事前の情報交換が頻繁に行われていました。これまでではどちらかというと合同練習の時はお互いによそよそしい感じがしていましたが、昨年度は、顔を合わせた時点から、「あの楽しい文章を書いた人はどこにいるのだろうか？」と、友達を捜しているような子がたくさんいました。そのような雰囲気の中で、練習を始めましたので、みんなの気持ちが合うのも早く、見る見るうちに曲が仕上がり始めました。曲の仕上がりとともに友達の輪が広がっていることを実感しました。

今年も、各学校が楽しく演奏し、演出等工夫を凝らしたステージを見せて貰うことでしょう。ひたむきな演奏に盛大な拍手をお願いいたします。

また、今年のゲスト出演はクリシュナフルートの皆さんです。フルートを専門に勉強された方々を中心に編成され、毎年演奏会を開いていらっしゃいます。素晴らしい演奏は、出演している子どもたちだけでなく、会場の皆様の心にいつまでも残ることでしょう。

最後に、フェスティバル開催に際しまして、ご支援・ご協力いただいた各小学校の校長先生をはじめ、諸先生方、関係の皆様に厚くお礼申し上げます。特に、保護者の方々には、本日を迎えるまでの準備をはじめ物心両面で支えていただき本当にありがとうございました。それでは本日のフェスティバルをごゆっくりお楽しみください。

香川県吹奏楽連盟理事長 片岡 義和
(国立詫間電波工業高等専門学校教授)



本日はビバ！プラス「第6回小学校バンドフェスティバル」にご来場いただきありがとうございます。今年も関係各位のご努力により、この素晴らしいフェスティバルが共催できることを喜んでおります。

子どもたちの素晴らしい感性と未知の能力の可能性が、先生方の粘り強い指導によりひきだされ、本日のステージが出来上がっております。子どもたちは、秘められた能力を開花させ楽器を楽しんで演奏しています。

子どもの頃に経験した美しいものは一生心に残ります。それも自分たちで創った和音のハーモニーは強烈なものが残るようです。小生のまわりにいる卒業生たちが、卒業後も長く職場や地域で楽器を吹き続けている姿をたくさん見受けます。

本日子どもたちのためにお忙しい中、ゲスト出演いただく「クリシュナフルートアンサンブル」の皆さんに御礼申し上げますと共に、ご来場の皆様方は子どもたちと共に美しいフルートの音色と響きを心行くまでご堪能ください。

最後に、ご来場の皆様方の暖かいご声援によりビバ！プラス「小学校バンドフェスティバル」がますます盛会となりますよう、ご指導ご鞭撻いただければ幸いです。ご協力いただきました皆様方に心より御礼申し上げ、ご挨拶に代えさせていただきます。